

# news paper

# #2

TODAY'S RACE Rd.3  
**SUZUKA CIRCUIT**  
4.22 SAT/23 SUN

[www.inging.co.jp](http://www.inging.co.jp)



INTERVIEW

**Sho TSUBOI #38**

38号車ドライバー 坪井 翔

やれることは  
全て出来た

get! 2nd

RACE ARCHIVE  
Rd.1 & Rd.2 FUJI SPEEDWAY

# DO IT TO WIN IT



SUPER FORMULA 2023  
P.MU/CERUMO INGING RACE REPORT

©INGING MOTOR SPORT Supported by WUCA Co., Ltd.



## RACE ARCHIVE

### Rd.1 FUJI SPEEDWAY レースアーカイブ Round.1 富士スピードウェイ

**決勝** 4月8日(土) 天候：曇り 路面：ドライ  
新たなマシン、SF23 導入元年となる 2023 年の全日本スーパーフォーミュラ選手権の開幕ラウンドがいよいよやってきた。第1戦 決勝。午前には曇り空のもと、1周のフォーメーションラップの後切られたスタートから思わぬレース展開を迎えることになった。

### 突然の衝撃が 坪井を襲う

決してパーフェクトな予選ではなかった坪井は、「良い位置からスタートできますし、自信があります。ロングランはこなしてはいないので分かりませんが、富士ではみんな試していないですからね」とレースに向けて期待を込めていたが、スタートで出遅れてしまう。ただ、一度抜かれた #5 牧野任祐や #20 平川亮を1周目に抜き返し、元のポジションに戻して1周目を終える。しかし、2周目の TGR コーナーに入った直後、突然の衝撃が坪井を襲った。背後につけていた #5 牧野がブレーキをロックさせてしまい、坪井のリヤに激しくヒットしてしまったのだ。たまたま坪井はスピン状態に陥り、車両後部は大きく破損。レースを終えることになってしまった。表彰台を狙っていたレースが、まさかの1周でリタイア。4月9日(日)の第2戦のためにレースを走り切りたいという目標すら叶えられず終えることになってしまった。#5 牧野にはペナルティが課されたほか、レース後、坪井のもとに謝罪に訪れた。



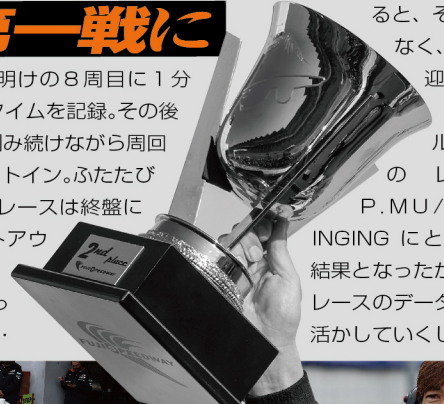
習をこなす機会ほとんどドシグナル消灯後、まさかの準備不足で」と阪口は悔しかった。他にも3台の車両がストールを喫していたが、再始動にも時間を要し、阪口は一気に20番手までポジションダウン。坪井のクラッシュによるセーフティカーランの後、阪口は2周遅れでレースを進めていく。もちろん上位進出は望めないものだったが、SF23 シャシー投入後初めてのレース。翌日の第2戦のためにも、得られるものは得なければならない。阪口は上位争いの邪魔をしないように、ロングランのペースを確認していった。

### 一方の阪口も まさかの展開に

一方の阪口もまさかの展開となった。専有走行が行えず、いきなりの予選となったことから、スタート練習をこなす機会ほとんどドシグナル消灯後、まさかの準備不足で」と阪口は悔しかった。他にも3台の車両がストールを喫していたが、再始動にも時間を要し、阪口は一気に20番手までポジションダウン。坪井のクラッシュによるセーフティカーランの後、阪口は2周遅れでレースを進めていく。もちろん上位進出は望めないものだったが、SF23 シャシー投入後初めてのレース。翌日の第2戦のためにも、得られるものは得なければならない。阪口は上位争いの邪魔をしないように、ロングランのペースを確認していった。

### 2回目のセーフティカー 波乱の第一戦に

阪口はセーフティカー明けの8周目に1分24秒826というベストタイムを記録。その後も1分25秒台のラップを刻み続けながら周回をこなし、30周を終えピットイン。ふたたびコースインした。そんななかレースは終盤に入っていたが、阪口がピットアウトした後の36周目、TGR コーナーでポジションを争っていた #36 ジュリアーノ・アレジがクラッシュ。この処理のために2回目のセーフティカーが導入されると、そのままリスタートは切られることなく、第1戦はチェッカーを迎えた。阪口の順位は17位。予選シングルポジションからのレースは P.MU/CERUMO・INGING にとってまさかの結果となったが、阪口が得たレースのデータで、第2戦に活かしていくしかない。



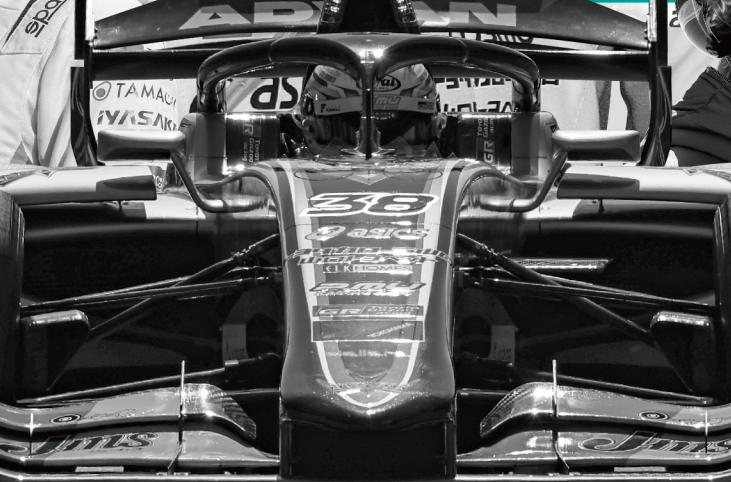
<b>Results</b>	<b>38</b>	予選 6位	決勝 リタイア
	坪井 翔		
	<b>39</b>	予選 8位	決勝 17位
	阪口 晴南		

### Rd.2 FUJI SPEEDWAY レースアーカイブ Round.2 富士スピードウェイ

**決勝** 4月9日(日) 天候：曇り 路面：ドライ  
第1戦から一夜明け、富士スピードウェイでの開幕ラウンドは第2戦の予選・決勝日となる4月9日(日)を迎えた。第1戦では2周目に後方からヒットされリタイアしてしまった坪井翔だが、ダメージはそこまで大きくはなく、メカニックたちの奮闘により午後11時ごろには車両修復を完了。また第1戦はスタートでエンジンストールを喫してしまった阪口晴南も、前日の決勝で得られたものを活かすべく、快晴に恵まれ富士山が見守るなか迎えた第2戦に臨んだ。



# INGING



### 前日の反省を活かし 両者ともに好発進

迎えた第2戦の決勝レースは、前日よりも20分遅い午後2時30分にフォーメーションラップのスタートが切られた。午前からは晴天は続いていたものの風が冷たく、気温13℃、路面温度32℃というコンディション。予選でもタイヤのウォームアップに苦しんだドライバーが多い状況だった。2台ともに苦戦したスタートでは、前日の第1戦での反省を活かし坪井、阪口ともに好発進を決める。特に良かったのは阪口だったが、TGR コーナーではアウト側に押し出されるかたちになってしまい、わずかにポジションダウン。1周目、坪井はひとつポジションを上げて4番手、阪口はグリッドどおりの8番手につけた。

### 好調な走りも セーフティカーランに

今回スタートではストールする車両が何台かいたが、一方で接触等はなく、僅差の序盤戦となっていく。そんななか坪井は2周目、TGR コーナーで #37 宮田莉莉磨をオーバーテイクし3番手に浮上する。また阪口もベースは良好で、先行する #20 平川亮を追走。5周目、#20 平川にはペナルティが出されたことから、阪口は7番手に浮上した。直後の8周目、TGR コーナーで #6 太田裕之と接触した #36 ジュリアーノ・アレジがスピンを喫し、コース上で停止してしまっただけでこのレース初めてのセーフティカーランとなるが、10周目のピットウインドウオープンのタイミングがやってくる。この機を逃すまいと、#20 平川をのぞく全車がピット作業を行った。

### 両者ポジションアップ 終盤戦の戦いへ

ここで坪井はピットイン組の3番手でコースに復帰すると、リスタート後は序盤首位を走っていた #53 大湯都史樹をオーバーテイク。ピットイン組の2番手に浮上する。一方の阪口は、坪井の作業後にピットを行うダブルピットになってしまったことから順位を落としたものの、12番手につけ集団のなかで後半戦を戦っていった。中盤から少しずつ各車の間隔が広がっていくも、上位陣では坪井の背後にいた #53 大湯のペースが上がらず、坪井は首位の #1 野尻智紀も射程に収めていく。また阪口も悪くないペースで中団につけると、#53 大湯のピットインなどもありポジションアップ。9番手につけて終盤戦の戦いを続けていった。

### 阪口に思わぬペナルティ

ただ32周目、阪口には思わぬペナルティが課されてしまった。序盤のセーフティカー時にほぼ全車がピットへ向かう際、前走車との車身を開けすぎたとして、レース結果に5秒のタイムペナルティが課されてしまったのだ。入賞圏内を死守するためにもひとつでも多く順位を上げたいところではあったが、阪口はペースは悪くないものの、集団から抜け出すほどではなかった。一方、2番手を走っていた坪井にも後方から第1戦のウィナーである #15 リアム・ローソンが接近していた。ローソンは阪口と同じペナルティが課されており、ポジションを上げることで表彰台圏内を守りたい狙いがあった。

### 良好な坪井は表彰台へ 粘る阪口も今期初入賞

しかし、この日の坪井は決勝ペースも良好で、#15 ローソンにつけられる隙を与えない。36周目以降、#15 ローソンはオーバーテイクシステムを活用しながら接近してきたが、坪井はこれを死守。41周を走り切り2位でチェッカーを受けた。2022年第6戦富士以来の表彰台だが、昨年とは異なる、ポジティブな喜びがある2位となった。阪口も最後まで粘り強く走り切り、8位でチェッカー。タイムペナルティを受けた後も10位となり、今季初入賞を果たした。2台揃っての入賞は昨年の第9戦鈴鹿以来。2週間後の第3戦鈴鹿に向けて、チームを大きく勇気づける結果で開幕ラウンドを締めくくった。

## INTERVIEW Sho TSUBOI #38

38号車 ドライバー 坪井 翔

# やれることは 全て出来た

第1戦はレースができなかったのですが、この第2戦が僕にとっての開幕戦となりましたが、情報がみんなより少なくなっていたのが辛いところでした。今日は予選ではトップに届くほどではなかったのですが、そこは改善点ですが、決勝レースではうまくマネージメントできましたし、要所要所でポジションを上げることができました。自分にやれることは全て出来たと思っています。勝てなかったですが、ひとまず2位でレースを終えることができて良かったですし、昨日壊れてしまったクルマをしっかりと直してくれたチームの皆さんに感謝しています。あとは優勝するだけです、今回の課題を鈴鹿にもぶつけて、勝てるように頑張っていきたいと思っています。

<b>Results</b>	<b>38</b>	予選 5位	決勝 2位
	坪井 翔		
	<b>39</b>	予選 8位	決勝 10位
	阪口 晴南		

アプリをDL後、ドライバーを登録して応援しよう!

**38** Sho Tsuboi 坪井 翔

**39** Sena Sakaguchi 阪口 晴南

スマホで登録

PCで登録 <https://sfgo.jp/>

To be Continued...